

2024

4

Vol.13 No.4

GSJ 地質ニュース

地球をよく知り、地球と共生する



4月号

-
- 63 **阿蘇 4 火砕流堆積物分布図 –わが国最大の巨大噴火による火砕流の分布とその地質情報–**
星住英夫・宝田晋治・宮縁育夫・宮城磯治・山崎 雅・金田泰明・下司信夫
-
- 69 **令和 5 年度廣川研究助成事業報告 (1)**
Cargèse 2023 School on Subduction Zone Processes 参加報告, および沈み込み帯の内部構造復元とその形成プロセス解明に向けた国際共同研究のための事前協議 志村侑亮
-
- 73 **令和 5 年度廣川研究助成事業報告 (2)**
沖積低地のジオアーケオロジーに関する動向調査と国際共同研究に向けた情報収集 佐藤善輝
-
- 79 **令和 5 年度廣川研究助成事業報告 (3)**
International Geomechanics Symposium 2023 での成果発表および情報収集 児玉匡史
-
- 82 **令和 5 年度廣川研究助成事業報告 (4)**
火山噴出物による噴火駆動メカニズムの解明に向けた国際共同研究の事前打ち合わせ 岩橋くるみ
-
- 85 **CEATEC 2023 参加報告**
小松原純子・穴倉正展・金子翔平・荒井晃作・三澤文慶・
新井和乃・野々垣 進・長 郁夫・米岡佳弥・中澤 努
-
- 87 **書籍紹介 「深掘り誕生石」**
-



5月10日は
地質の日



5月10日を中心に全国でイベント開催

地質の日事業推進委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

E-mail : geologyday-jimu-ml@aist.go.jp

Web : <https://www.gsj.jp/geologyday/>

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、(一社)日本鉱物科学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本第四紀学会、日本情報地質学会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、神奈川県立生命の星・地球博物館、(国研)産業技術総合研究所、日本科学未来館、(地独)道総研エネルギー・環境・地質研究所、(公社)東京地学協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO法人)日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 (※不同：2024年2月現在)

撮影地：島根県日御碕

題字：高橋須葉

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮 地 良 典
副委員長 戸 崎 裕 貴
委員 竹 原 孝
児 玉 信 介
草 野 有 紀
宇 都 宮 正 志
山 岡 香 子
森 尻 理 恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 13 巻 第 4 号
令和 6 年 4 月 15 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
中央事業所 7 群

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
YAMAOKA Kyoko
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 13 No. 4
April 15, 2024

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

標津町古多糠の橋上から望む忠類川上流域と知床第四紀火山群 cover photo



知床半島の付け根を南流する忠類川は、サマッケヌブリ山東麓を源流とする野趣溢れる河川である。標津町古多糠^{こたぬか}の橋上からは、この河道を通して知床連山と称される第四紀火山群を見渡すことが出来る。一方、この河川上流に位置する金山スキー場付近は明瞭な地形境界となっている。ここには上部中新統～鮮新統がほぼ直立して露出しており、地質断層が想定されていた。この付近は、現在も知床半島を隆起させるXランクの活断層（古多糠断層）として再活動している可能性があるが、その活動時期や変位量については、不明のままである。（写真・文：七山 太 産総研地質情報基盤センター／ふじのくに地球環境史ミュージアム）

Upper river basin of the Churui River and the Shiretoko Quaternary volcanoes viewed from the bridge in Kotanuka district, Shibetsu, eastern Hokkaido, Japan.
Photo and caption by NANAYAMA Futoshi